

**おたふくかぜ任意予防接種の助成を開始します**  
～4月1日から1歳児と年長児を対象とした任意予防接種への助成を開始～

千葉市では、幼児のおたふくかぜの発症および重症化を予防するため、令和8年4月1日（水）から、1歳児と年長児を対象とした、おたふくかぜ任意予防接種の助成を開始しますので、お知らせします。

## 1 助成の概要

### (1) 助成開始日

令和8年4月1日（水）

### (2) 対象者

千葉市に住民登録があり、以下のいずれかに該当する幼児

- ・令和7年4月2日以降生まれの1歳以上2歳未満（1歳児）
- ・小学校に入学する前年度の1年間かつ5歳以上7歳未満（年長児）

※いずれも発病したことがある場合は対象外

### (3) 接種（助成）回数

1歳児で1回、年長児で1回の合計2回

## 2 実施体制

### (1) 接種方式

市内協力医療機関での個別接種（約100カ所）

### (2) 予約方法

接種希望者が協力医療機関へ直接予約

## 3 助成額

2,000円／回

※接種希望者は、接種費用から助成額を差し引いた額を医療機関に支払います。

## 4 予診票等の配布場所

市内協力医療機関、各区保健福祉センター健康課、医療政策課（市役所高層棟8階）

※3月下旬から配布開始予定

## 5 周知方法

- ・市政だより4月号
- ・市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/otahuku.html>

- ・出生届提出の際に配布する冊子「予防接種のごあんない」に記載
- ・4か月児健康診査や就学時健康診断時などでお知らせ

※事業開始初年度の対象者には個別に通知予定



## ＜参考＞

### 1 おたふくかぜについて

おたふくかぜは、飛沫感染や接触感染により、耳下腺の膨張や発熱などの症状が出現する病気です。

合併症には、無菌性髄膜炎や脳炎などがあり、特に難聴は一生の後遺症として残ることが知られています。

### 2 ワクチンについて

おたふくかぜワクチンはムンプスウイルスを弱毒化した生ワクチンで、効果は80%程度、接種した上での発病は軽い症状で済むと報告されています。

接種回数については、3歳から6歳の発症が多く、また、予防効果を確実にするため、麻しん風しんワクチン接種と同時期である「1歳と小学校入学前年度」の合計2回が推奨されています。

副反応としては、接種して2～3週間後に熱が出たり、耳下腺が腫れたりする場合がありますが、自然に治癒します。また、ごく稀に無菌性髄膜炎や脳炎を発症することがありますが、おたふくかぜに自然感染した場合と比べるとその確率は低く、重症にもなりにくいとされています。